

市議会議員  
かけのまち子  
電話/Fax 53-7727  
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員  
みわ 陽子  
電話/Fax 54-6712  
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO.532 2023.7.13  
日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753  
元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

\* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

6月定例会  
おわる

# ため込まず、困っている市民へ積極的な支援策を

6月29日、市議会6月定例会が閉会しました。最終日には、副市長選任の議案が提出され、全会一致で可決しました。

日本共産党議員団は、提出された18議案と1請願のうち、市民の立場にたって2議案に討論を行い反対。16議案に賛成、請願（布袋サマーフェスティバルへの支援を求める請願）の継続審査に賛成しました。

日本共産党議員団が反対したのは、①国民健康保険税の課税限度額を102万円から104万円に引き上げる条例改定案と②一般会計補正

予算の2議案。（討論は、市議団HPに掲載しています）

市長選後初となる6月定例会には、市長の政策を反映させた18億円余の大型の一般会計補正予算が提出されました。しかし中味は、新工業用地整備など目的別基金への積立金が計7億円も。

党議員団は、学童保育の待機解消や高すぎる国民健康保険税の引き下げをはじめ、物価高騰で困っている市民のために基金にため込まず積極的に活用していくべき時だと、補正予算に反対しました。

〈6月定例会の一般質問（その2）を紹介〉みわ陽子議員の他質問は次号で紹介します

## 安心の保育を！ 公立保育を壊す契機となりかねない、大規模・民営化

### かけの まち子 議員

市立あずま・中央保育園を統合した民間の大規模保育園（定員240人）を整備・運営する事業者の募集が始まっています。営利目的の保育企業の参入が想定されます。果たして安心・安全な保育となるのか、江南市の公立保育を壊す契機となりかねない不安が多々あり、市の方針を質しました。

### 保育士の離職、人件費の低下に歯止めを

国・県・市が保育園に支払う運営委託費は8割を人件費に充てることを想定しています。ところが営利目的の株式会社が運営する保育園では、運営費の3割を繰り越して役員報酬や株主配当、他の事業に流用できる弾力運用の仕組みを利用。人件費を削り、事業を拡大しています。

実際、東京都内の株式会社の保育園の人件費比率は平均わずか51.9%でした。（右の左側グラフ）保育士の賃金など労働条件が悪化して離職が増加し、平均勤続年数はたった2~5年。一方、公立園では20~30年でした。

保育士がひんぱんに入れ替わる不安定な保育園で、安心・安全の保育は望めません。

民間園に対し、江南市独自に人件費比率の最低基準を設け、市の責任で労働条件の悪化に歯止めをかけること。市が県と共に現地調査・監査を行い、運営状態を厳しくチェックし公表するよう求めました。

市当局からは「県認可の際に人件費比率を確認する。市有地（図書館跡地）を10年間無償貸与する（年289万円相当）ため、毎年、保育園から事業報告を市が徴取する。保育士の離職状況等も含め、議会への報告方法を検討する」と答弁がありました。

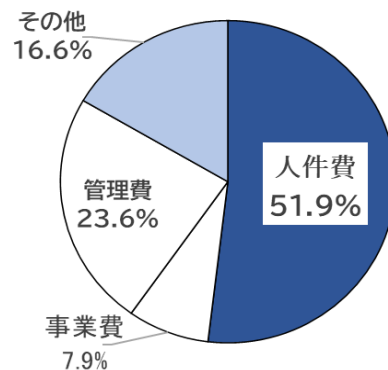
園長は経験わずか10年、規模は事業者次第257人も可  
障害児保育の保障？ 有料オプション保育の歯止めは？

公募要項では、園長の条件は、認可保育所等での保育士経験が10年以上あれば可となっています。定員240人の施設規模も、事業者の提案にゆだね257人でも可としているのも大きな問題です。

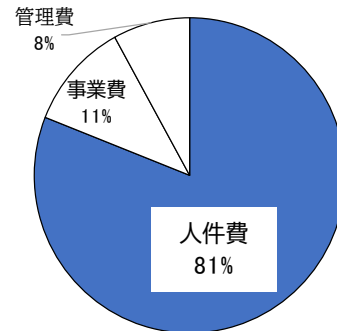
また保育士の加配が必要な障害児の受け入れを公立並み（現在7.4%）に保障すること、高額有料のオプション保育の実施に市が歯止めをかけ、低所得世帯の子どもの入園を保障するべきことも追及しました。

### 8割を人件費に充てるはずなのに、低すぎる株式会社の保育園の人件費比率

（LhiShin赤旗2023.5.26より）



株式会社の保育園（都内）の運営費の使途（2017年度）



国が想定している保育園の運営費の使途



## 带状疱疹ワクチンの助成が始まっています

市HPからWEB申請し、助成券を入手してください  
WEB申請が困難な方は、保健センターに電話を。

7月1日から50歳以上の市民を対象に、带状疱疹ワクチン接種費用の助成が始まりました。対象ワクチンは、不活性化ワクチン（上限額1万円）と生ワクチン（上限額3千円）で、ともに生涯で1回のみ助成です。

医療機関に自分で予約した上で、市HPの带状疱疹ワクチン申請フォームから助成券の発行をWEB申請してください。後日、自宅に郵送される助成券を接種日に医療機関へ持参して接種を受け、助成額を差し引いた額を窓口で支払ってください。市内協力医療機関によって、接種できるワクチンの種類と値段が違います。詳細は市HPに掲載されています。

（広報こうなん7月号での周知はありません）